

2019年度 定時総会 (第2回常務理事会・理事会合同会議同時開催)

2019年6月12日(水)15:00～ ホテルニューオータニ宴会場階「鳳凰の間」

総会には約500名の会員の皆様にご出席いただきました。

下記決議事項についてお諮りし、すべての議案が原案の通り異議なく可決承認されました。



【決議事項】

- 第1号議案 2018年度活動報告について
- 第2号議案 2018年度収支決算について
- 第3号議案 2019年度活動計画について
- 第4号議案 2019年度収支予算について
- 第5号議案 企業部会・消費者部会の定款化について
- 第6号議案 会員の異動について
- 第7号議案 会長代行の選任について



【2019年度活動計画の概要】

重点課題

(1)「国家財政の見える化」の実現に向けて

「国民に見える財政運営を 国と国民の信頼関係の構築のために」

- ①「わかりやすい」予算・決算書類の「早期開示」を
- ②「国家財政の見える化」に向けた仕組みづくり ～具体的な活動にフォーカスして
特に複数年度の歳出目標を設定し、歳出上限に強制力を持たせること、つまり「3年程度の複数年度予算シーリング」実現に向けた取り組みを推進する。

(2)「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて

“人的鎖国からの脱却 ～人口減少は、国の存亡に関わる問題である”

- ①外国人の受入れに関する基本法の確立へ
- ②「教育」に関する具体的な制度設計・整備
社会の分断を回避するためには、「教育」の問題は喫緊の課題。基本法の確立に向けた活動と並行して、具体的な制度設計・整備に向けた実態調査とその発信を進めていく。

(3)「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

“わが国のあるべきエネルギー政策を考える「議論の輪」の拡大”

- ①「原発」「再生可能エネルギー」を中心に調査研究・議論を進め、あるべきエネルギー政策を考える
- ②国が策定する「エネルギー基本計画」の問題点を洗い出し、政官に対して強く問題提起
- ③供給面に加え、需要面（「省エネルギー」）についても調査研究・情報共有を促進
- ④生団連の強みである「現地現物活動」と「内外ネットワーク」を活かし、委員会を中心に報告・議論を重ね、生団連が「国民的議論」を喚起していく

(4)「生団連災害情報ネットワーク」の構築に向けて

“被災地の現場実態の正確な「情報」と有効な「支援」のマッチングスキームを確立する”

- ①被災地の正確な情報収集
- ②支援スキーム「生団連サプライ」の整備

なお、重点課題の各座長を務めていただいているキリンビール株式会社 布施孝之代表取締役社長、株式会社高島屋 鈴木 弘治代表取締役会長、三菱食品株式会社 森山 透代表取締役社長、消費者団体を代表して一般社団法人消費者市民社会をつくる会 阿南 久代表理事の4名が会長代行に就任されることが全会一致で承認されました。委員会を通じた生団連の活動をより一層強化し、内外への発信を活発化していきます。



定時総会 記念パーティー

2019年6月12日(水) 17:45～ ホテルニューオータニ宴会場階「鶴の間」



▲阿南会長代行がスピーチ



小川会長挨拶 要旨

- 「国家財政の見える化」委員会
複数年度予算シーリングの導入を提言し、国民が理解しやすい形で、戦略的なお金の使い方ができるシステムへ変更していくべき。
- 外国人の受入れに関する委員会
将来分断を生まないためにも、外国ルーツの子どもたちの教育体制を整備しなければならない。そのためには十分な予算が必要。
- 「エネルギー・原発問題」委員会
核燃料廃棄物処理など原発問題が依然として残る中、エネルギー安定供給のためには全体最適でどうあるべきか、具体的なロードマップを示していきたい。
- 新・災害対策委員会
消費者を含め流通サービスの全分野を網羅している生団連のネットワークを活かし、有事に必要な物が必要な人に届くシステム「生団連サプライ」の構築を進めていく。

ご祝辞



▲山下 貴司 法務大臣



▲山口 那津男 公明党代表



▲菅 義偉 内閣官房長官



▲甘利 明 自由民主党 選挙対策委員長

乾杯



国民生活産業・消費者団体連合会
2019年度 定時総会記念パーティ

◀生団連副会長である消費者団体の皆様による乾杯
(左より)

堺市消費者生活協議会

山口 典子 会長

札幌消費者協会

高田 安春 会長

東京都地域婦人団体連盟

谷茂岡 正子 会長

埼玉県地域婦人会連合会

柿沼 トミ子 会長

消費科学センター

大木 美智子 代表理事

消費者市民社会をつくる会

阿南 久 代表理事

記念パーティでは、国会議員・関係官庁の方々をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、温かいご祝辞も頂戴しました。会員・ご来賓の皆様等を合わせ、総勢1,100名に上る方々のご参加により、大盛況の記念パーティとなりました。



◀古川 元久
国民民主党 代表代行



柴山 昌彦
文部科学大臣▶



▲清水名誉会長を囲んで